

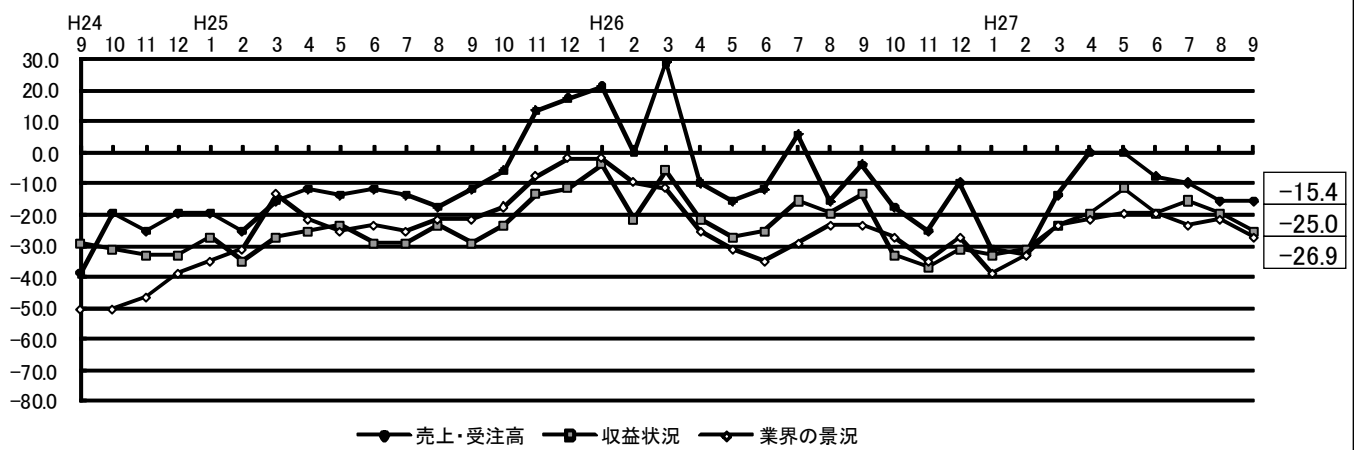
# 中小企業団体情報連絡員報告結果(平成27年9月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 9月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「在庫数量」「販売価格」「取引条件」「収益状況」「設備操業度」「業界の景況」の6指標が低下した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月と同ポイントの-15.4ポイント、「収益状況」が5.8ポイント低下の-25.0ポイント、「業界の景況」が5.7ポイント低下の-26.9ポイントであった。
- 「在庫数量」「取引条件」「収益状況」「設備操業度」「業界の景況」が5ポイントを超えて大きく低下した。「販売価格」「収益状況」が2ヶ月連続で低下した。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-15.4	0.0	-19.9	-7.2
収益状況	-25.0	-5.8	-23.3	-3.0
業界の景況	-26.9	-5.7	-27.0	-5.3

## 売上・受注高

当月の県内売上・受注高DI値は、前月と同ポイントの-15.4ポイントとなった。全国においては、前月より7.2ポイント低下の-19.9ポイントとなった。

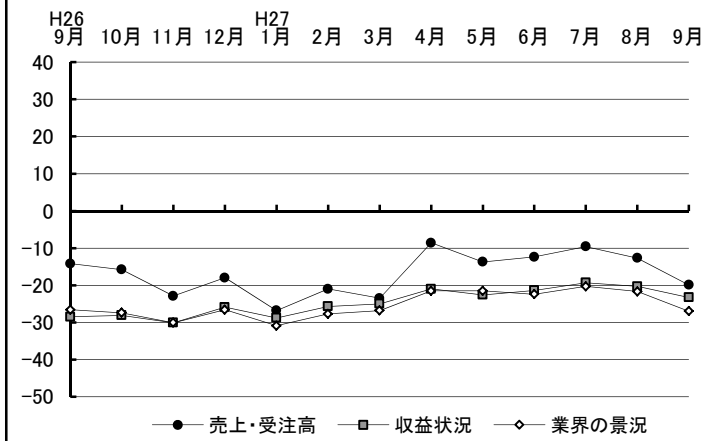
## 収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より5.8ポイント低下の-25.0ポイントとなった。全国においては、前月より3.0ポイント低下の-23.3ポイントとなった。

## 業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より5.7ポイント低下の-26.9ポイントとなった。全国においては、前月より5.3ポイント低下の-27.0ポイントとなった。

全国集計結果の推移



## 概況

9月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「在庫」「価格」「条件」「収益」「操業」「景況」の6指標が低下した。主要3指標は、「売上」が前月と同ポイントの-15.4ポイント、「収益」が5.8ポイント低下の-25.0ポイント、「景況」が5.7ポイント低下の-26.9ポイントであった。指標を個別に見ると、「在庫」「条件」「収益」「操業」「景況」が5ポイントを超えて大きく低下した。「価格」「収益」が2ヶ月連続で低下した。

また、業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上」は製造業で7業種中1業種が上昇、2業種が低下し、非製造業で6業種中2業種が上昇、3業種が低下した。「収益」は製造業で1業種が上昇、3業種が低下し、非製造業で3業種が上昇、2業種が低下した。「景況」は製造業で1業種が上昇、2業種が低下し、非製造業で1業種が上昇、2業種が低下した。

全国指標では、前月の前年同月比DI値と比べて9指標全てが低下した。中国経済の停滞に伴う外需の減退が拡大していることに加えて、天候不順や物価上昇による節約志向の高まりが実需を低迷させており、また労働力不足・人件費の負担増といった雇用環境も相まって、中小企業の先行きは予断を許さない状況にある。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	操業	雇用	景況
食料品製造	△	△	△	△	×	△	×	△	△
繊維・同製品	×	△	○	△	×	△	×	△	×
木材・木製品	△	×	△	△	×	△	△	×	×
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	△	△	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	△	△	△	△	×	△	△	△	△
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	△	△	○	△	△	△	—	△	△
サービス業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
その他	×	—	△	△	△	△	—	△	△

○ 増加・上昇・好転  
(DI値 +40ポイント以上)

△ 不変

× 減少・低下・悪化  
(DI値 -40ポイント以下)

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	操業	雇用	景況
食料品製造	-25.0	-25.0	0.0	0.0	-50.0	-25.0	-50.0	-25.0	-25.0
繊維・同製品	-50.0	25.0	50.0	-25.0	-50.0	-25.0	-50.0	-25.0	-50.0
木材・木製品	-25.0	-50.0	-25.0	0.0	-75.0	-25.0	-25.0	-50.0	-75.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	-25.0
鉄鋼・金属	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
一般機器	-25.0	0.0	0.0	0.0	-50.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
小計	-20.0	-8.0	0.0	-4.0	-40.0	-12.0	-16.0	-16.0	-36.0
卸売業	-33.3	0.0	0.0	-33.3	-33.3	0.0	/	-33.3	0.0
小売業	0.0	-14.3	42.9	-14.3	-14.3	-28.6		14.3	-28.6
サービス業	-16.7	/	-16.7	-16.7	-16.7	-16.7		-16.7	-16.7
建設業	20.0		0.0	0.0	0.0	0.0		20.0	-20.0
運輸業	-25.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	-25.0
その他	-50.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小計	-11.1		-10.0	7.4	-11.1	-11.1		-11.1	0.0
合計	-15.4	-8.6	3.8	-7.7	-25.0	-11.5	-16.0	-7.7	-26.9

図表3～【指標別DI値の推移】

	H26				H27								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上高	-3.8	-17.3	-25.0	-9.6	-30.8	-32.7	-13.5	0.0	0.0	-7.7	-9.6	-15.4	-15.4
在庫数量	-14.3	-2.9	8.6	-8.6	-14.3	-11.4	0.0	-8.6	5.7	-2.9	-8.6	0.0	-8.6
販売価格	3.8	1.9	3.8	5.8	3.8	3.8	5.8	1.9	9.6	7.7	11.5	7.7	3.8
取引条件	-3.8	-5.8	-11.5	-7.7	-11.5	-9.6	-3.8	-5.8	-9.6	-7.7	-3.8	-1.9	-7.7
収益状況	-13.5	-32.7	-36.5	-30.8	-32.7	-30.8	-23.1	-19.2	-11.5	-19.2	-15.4	-19.2	-25.0
資金繰り	-11.5	-11.5	-13.5	-15.4	-19.2	-11.5	-5.8	-7.7	-11.5	-11.5	-13.5	-11.5	-11.5
設備操業度	-8.0	-8.0	-28.0	-16.0	-16.0	-36.0	-16.0	-24.0	-8.0	-20.0	-8.0	-8.0	-16.0
雇用人員	-5.8	-11.5	-3.8	-7.7	-19.2	-13.5	-17.3	-11.5	-13.5	-15.4	-17.3	-7.7	-7.7
業界の景況	-23.1	-26.9	-34.6	-26.9	-38.5	-32.7	-23.1	-21.2	-19.2	-19.2	-23.1	-21.2	-26.9

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	操業	雇用	景況
食料品製造	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
繊維・同製品	-25.0	25.0	0.0	-25.0	-50.0	0.0	-25.0	0.0	-50.0
木材・木製品	-25.0	-75.0	0.0	0.0	-50.0	-25.0	-50.0	-25.0	-50.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0
鉄鋼・金属	0.0	-25.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般機器	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
小計	-4.0	-12.0	-4.0	-4.0	-16.0	-4.0	-8.0	-4.0	-12.0
卸売業	-66.7	0.0	-33.3	-33.3	-100.0	0.0	△	-33.3	0.0
小売業	57.1	0.0	14.3	0.0	42.9	42.9		14.3	28.6
サービス業	-16.7	△	-16.7	-16.7	-16.7	-33.3		0.0	-16.7
建設業	20.0		0.0	0.0	20.0	0.0		20.0	-20.0
運輸業	0.0		0.0	0.0	25.0	0.0		0.0	0.0
その他	-50.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小計	3.7		0.0	-3.7	-7.4	3.7		3.7	3.7
合計	0.0	-8.6	-3.9	-5.8	-5.8	0.0	-8.0	0.0	-5.7

# 特記事項

情報連絡員報告（平成27年9月分）

所属組合	特記事項
酒類製造業	いよいよ酒造りの時期に入った。まずは精米である。今月末頃から徐々に仕込みに入る。台風18号の影響で米の出来も心配されたが何とか収量は確保されそうだ。
染色整理業	良い話題なし。景気動向は下降線にあり不安がある。
一般製材業	加工予定物件が翌月に延びたり、変更が発生したりと、今月は休みの多い中、加工予定を組むのが大変な月であった。全体的にもまだまだ安定したとは言えない状況が続いている。
建具製造業	9月9日～10日の水害では、組合員9社が流失・浸水などの被害にあった。中には深刻な被害もあり、今後の見通しも立っていない。 組合員以外でも、木材・木工業者の被災があり、ぜひ公的支援を願いたい。
木材・木製品製造業	これからは国産材を使用したCLT工法が有望となる。前向きに検討中である。
印刷業	ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格、原材料価格の上昇など厳しい経営環境に変わりはない。 9月の大雨で組合員企業3社に床上浸水の被害があり、水深70cmに達し深刻な状況となった。災害救助法が適用されたが、事業継続のために国・県の支援が必要である。
金属製品製造業	自動車関連は、コストダウンの要請が強い状態である。家電関連は、白物家電のコストダウンの要請が強い。
金属製品製造業	当組合青年部、商工会議所青年部及び青年会議所の三団体共催により若手中心の研修会を行った。講師は、海外にも拠点を持つ地元出身の金属プレス加工業の創業者で、「今、何をすべきか?」「新しい時代に向けての経営」をテーマとし、30名が参加した。 中小企業の動向は前月と変わらない。
一般機械器具製造業	本年9月は、ほぼ前年同時期と比較し、前月に引き続き売上高がやや減少傾向、仕入れ原価は上昇傾向が見られた。売上高が減少しているにもかかわらず、仕事が忙しいという妙な現象が生じている。
一般機械器具製造業	新規受注、売上高としては変わりがなく、収益状況を見るとまだまだ厳しい状況である。しかし、機械加工の設備操業度、稼働率は良く、更に設備導入し徐々にではあるが効果が出てきている状況である。業界の景況、雇用人員等是不変であるが、雇用の平均年齢も高くなっていることから、技術の伝承を考えると早急に対応が必要であり、若い社員の雇用も含めて考え、現在中途・新規含めて人員の確保を行っている。 更に、製造業として独自性のある取組み、特に改善は必須であり、一人一人が意識を変え改善を行うことを積極的に取り入れている状況である。
各種商品卸売業	全体的には前月の業況とさほど大きな変化はなかった。 来春新入社員等の採用予定がある組合員3社から採用状況について聞いてみると、機械工具卸業では目標の来春新卒予定者2名の内定と中途採用1名を確保することができた。理化学機器卸売業では、来春新卒予定者2名のところ現在までゼロであり、苦戦している。産業用運搬具卸売業では、採用予定の3名を内定したが、先日1名辞退されてしまった。営業や事務関係は希望者が多いが、整備関係は人材確保が困難な状況である。 6月決算の肥料・室内装飾品卸売業では、前年に比べ売上高は下落したが社内の経費削減を徹底したことにより予定の利益を確保することができた。現場での労働力不足は深刻である。
食肉小売業	国産豚は相場が落ち着いたが、円安で牛肉・豚肉の輸入物が高値で推移している。国産和牛は出荷量が少なく、先月より高値になった。

各種商品小売業	大変厳しい経済状況である。百貨店・スーパー等々も我々と同じようだ。早い景気回復を待っているところである。
各種商品小売業	例年残暑が厳しい時季であるが、今年は急激な秋の訪れを感じさせる気候ということもあり、婦人衣料が前年比114%と売上げに大きく寄与した。上期、前年割れが続く状況の中、下期の良いスタートが切れたことは30周年セールへ向けて非常に大きな意味を持つ。30周年セールの周知を図りつつ、勢いをもって下期の山場を迎えたい。
花・植木小売業	9月19日～23日のシルバーウィークは、花業界にとって敬老の日、お彼岸、ブライダルと小売りの売れ時が重なり、今年の最需要期の一つとなった。大雨の影響により心配された入荷量も、彼岸前にはほぼ前年並みとなり、連休中は天候にも恵まれ良好な動きとなった。
理容業	今月は久しぶりに組合員が1名新規加入し、脱退者もいなかったため、前月より組合員数が1名増員となった。
自動車整備業	稼働日数が少なかった影響もあり、操業度、売上高は減少であった。これから増販期になってくるので、それに向け新たな取り組みを検討している。
ビルメンテナンス業	採用難により、求人広告費に少し増加傾向が見られるものの、収益を圧迫するほどではない。
給食センター	平成27年3月末で不採算部門の撤退があり、売上高は前年同月比で大幅な減少となった。食材の価格値上げ等はあるが、不採算部門の撤退・新調理法で製造の弁当の拡販等・コストダウンにより、収益は改善されると思われる。
旅館・ホテル	9月は台風18号の影響から各宿でキャンセルが相次ぎ前年比は当然減少となった。しかしながら、シルバーウィークは出入りの多い予約状況だったが結果として最終的にほぼ満室となった。ただし、平日に関しては例年の9月より少ないようだ。一方、各宿の被害は一部で露天風呂の崩壊や床上浸水の被害があり、また、温泉の被害についても、ポンプや配管の被害が一部であった。また、断水も広範囲で発生したが翌日復旧し、シルバーウィークでは温泉の復旧も含め事なきを得た。
内装工事業	栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数から見ると、前年同月比カーテン用ラベルは1019%増、敷物用ラベルは3%減、壁装用ラベルは35%増であった。4～9月累計では、カーテン用ラベルは128%増、敷物用ラベルは36%増、壁装用ラベルは26%増であった。 ラベルの支給売上金額の前年同月比は100%、4～9月累計では30%であった。 9月はカーテン用ラベル前年2,070枚に対して、今年は24,661枚の支給となり、カーテン関連工事が多かったことを伺わせている。
一般貨物自動車運送業	ドライバー確保の厳しさ、拘束時間規制強化から稼働率維持のため、高速道路利用など経費負担が増加している。荷主への運賃値上げ要望を強めているが、結果は全体的に厳しい状況である。燃料価格は前月比若干値下がりした。
貨物軽自動車運送業	半期決算月ということもあり、9月度は引越し貨物が増大したが、自動車等の輸送関連貨物は減少傾向にある。一般貨物の定期輸送受注案件が数件あるが、世界経済の今後の動向が気になる。 信書郵便取扱資格の取得に向けて準備を進めている。 高齢化に伴う組合員の減少とドライバー不足が深刻化している。
一般乗用旅客自動車運送業	9月10日発生の関東・東北水害の被害調査依頼があり、前年より幾分の収益増があった。
大谷石採石業	組合全体としてはほぼ同じ(微減)であった。水害でしばらく操業ができなかった組合員や、出荷が遅れる組合員もあった。